

あおたけ

まきび病院家族会機関紙 事務局
〒710-1301 岡山県倉敷市真備町箭田 2387
TEL (086) 698-6511 第180号 2016.5
ホームページアドレス <http://www.ne.jp/asahi/m/0/aotake/>

3月年間総括のご報告

3月17日(木)、あおたけの間にて年間総括を行いました。

前半は2016年度の事業計画について話し合いました。

後半の自由意見では、「薬物療法だけが治療なのではなく、本人、家族、周囲の人々が対等な関係で対話をすることも必要」「評価されるでも否定されるでもなく、本人にとって居心地がいいと思える場所があることが大切」などの意見が出ていました。

また、本人が病気のしんどさを抱えているように、本人を支える家族もしんどい気持ちを抱えている“当事者”であるということから、「家族を含めたケアの必要性」についても議題に挙げ、活発に意見交換がなされていました。

4月役員会・定例会のご報告

4月21日(木)、あおたけの間にて午前中に役員会、午後からは定例会を行いました。

午前中の役員会では、2015年度の事業報告・決算報告、および2016年度の事業計画案、予算案について話し合いました。

午後からの定例会では、役員会で出た意見の報告を行いました。その後、みなさんからも事業計画案・予算案について検討していただき、「研修や大会は近場での開催なら行きやすい」、「家族会に来たくても来られない人に対して、何か出来ないか」等の意見が出ていました。

定例会の後半は自由意見として、みなさんから体験談が語られました。

家族会との出会い

多くのご家族が「当初は慌てふためいて、家族会の存在を知らなかった」、「知っていたけれど、参加しようという余裕はなかった」ということでした。しかし、「家族会に出会って救われた」、「誰にでも簡単に話が出来ることではないが、家族の人同士で話が出来て気持ちが軽くなった」などといった意見が出ていました。

不調時の本人とのかかわり

本人の不調にどのように向き合い、付き合ってきたのかについて、「本人の気持ちが収まるまで付き合い続けるのはすごく大変なこと。だけど、結局は見守る、寄り添うしか手立てはない」、「真夜中にドライブしたり。今振り返ってみると、本人もしんどくて、どこかに逃げ出したいという気持ちに突き動かされていたのかなと思う」、「お店の中などで調子の悪い本人とやりとりしていると、事情の知らない周囲の人たちは私達を警戒したような目で見てくることもある。でも堂々としておけばいいと思った」などのお話がありました。

それぞれに体験された事柄は違っても、本人を支える強い思いや信念は、どのご家族も共通しているように感じました。



お知らせ

第28回 まきび病院家族会あおたけの会 定期総会

5月21日(木) マインドホールにて

13:30～ 総会

14:00～ 記念講演 を行います。

記念講演では、倉敷市真備保健福祉課 主任 多田城太郎氏を講師としてお迎えし、「**精神障がいを抱える本人、家族を取り巻く社会資源**」を演題としてご講演いただきます。

“親なき後”の不安を抱えていらっしゃるご家族に向けて、地域の様々な福祉サービスや支援制度についてお話していただけるかと思えます。質疑応答の時間も設けておりますので、みなさんぜひご参加下さい。

5月以降の予定について

■6月16日(木)

14:00～ 住倉学園のグループホーム見学

■7月21日(木)

交流会(場所、時間等未定)



※6月・7月は通常通り第3木曜日に行う予定です。

詳しい内容については総会で承認されたのち、外来空間掲示板にてお知らせいたしますので、ご確認よろしくお願いたします。